

【ダイジェスト版】



伝統の技で打たれる蕎麦は、香りが高く人々を魅了することを伝える。



海外の人に人気がある温泉や着物の着付け、弓道など小諸で体験できることを紹介。



PVの最後は、「あの夏で待ってる」のロゴのように編集し、「なつまち」ファンのために遊び心を取り入れた。

作品や作品のファンの皆様、小諸市の皆様の協力があって、いざ縁ができたと思えますので、心から感謝の気持ちでいっぱい입니다。また個人的にも訪れたいと思っておりますので、ぜひ、引き続き、この縁が繋がっていきなと思えます。

小諸で、声優に憧れている子どもたちへメッセージをお願いします。

「プライベートで作品の聖地巡礼として訪れたのですが、思った以上に都内から行きやすい場所だと感じました。まだ一人旅に慣れておらず、遠い場所には不安を感じていて、「あ、そうだと小諸だ！よし、あそこなら一人旅行しちゃおう！」と思っただけです。PVの映像を拝見して、小諸の文化や伝統も、もっと知りたいなと思えました。

大事に夢を叶えるために自分ができることを、ちよつとずつ見つけ

「なつまち」を、そして小諸を愛し続けてくださり本当にありがとうございます。皆様のおかげで今回のお話をいただき、しかも、霧島海人としての声も求められていて、本当に幸せな環境にいます。皆様の愛で幸せにしてもらった分、今後も僕にできることがあれば、全力で返していきたいと思えます。これからも「なつまち」と、小諸市をよろしくお願いします。

私もまた訪れたいと思つて

「なつまち」や僕のことを知らない方もいらっしゃると思いますが、僕はもう一方的に小諸市や小諸の皆様に感謝しております。声優としても一人個人としても、微力ながら、今後とも小諸市のお力になれば幸いです。これからもより素敵な小諸を築いていきますように。

小諸市民の皆さんにメッセージをお願いします。

「なつまち」の放送から約6年。いまだに小諸を訪れてくれる方も多く、また、当時の中高生が大人になって初めての旅行先として来てくれたり、最近では海外からのお客様も。こうしたファンの皆さんにメッセージをお願いします。

以前、作中でモチーフになった家を見せていただいたことがあって、すごく気持ちが高まりました。次は作品だけでなく、今回のPVにも沿った聖地巡礼してみたいです。

この仕事は大変なことも沢山あります。それでもこの仕事を愛しているし、楽しんでいて、この先もずっと続けたいと思つています。

声優という仕事で食べていける人間はほんの一握りです。それを分かった上でも声優を志したいと心から言えるのであれば、ぜひ挑戦してみてください。

お蕎麦も美味しいし、見どころいっぱいなので、私もそうですが、皆様にも訪れてほしいです。